

「東播支部忘年会を終えて」



東播支部は、令和4年11月19日（土）JR東加古川駅近傍にある、割烹「弁慶」において忘年会を催しました。当日は、石田支部長以下17名が参加したほか、県本部から小川会長、小林事務局長及び中筋次長の参加を得ることができました。

会の冒頭、石田支部長から県本部3役員に対して支部忘年会への謝意が示された後、今年の支部活動に感謝とねぎらいの言葉がありました。また、コロナ第8波蔓延の兆しがある中での開催を心得て、「参加の皆様には、十分な注意と自覚ある行動をお願いしたい。」旨のお話がありました。続いて、小林県事務局長による乾杯の発声により、和やかな開会となりました。

参加会員は、県会長を始めとした県本部役員と親しく話す機会をなかなか得られないことから、相互で積極的に会話していただくことにより、県本部役員／支部会員間における情報共有と親睦を行うことができました。また、支部忘年会に初めて参加した会員も、和気あいあいとした雰囲気の中で、“てっちり”、“てっさ”、“刺身”、“焼き魚”、“カキフライ”、等に舌鼓を打って楽しんでいる様子でした。

中締めでは、県会長にご挨拶をお願いしたところ、「県本部役員に対する支部忘年会参加の声掛け、並びにコロナの影響により、県としては満足な活動が出来ない中、東播支部は感染に注意しつつも活動を積極的に行い、行事計画をひとつひとつ実行することで、県隊友会全体の牽引力になってくれており大変感謝している。」旨のお言葉を頂きました。

和やかな雰囲気の中にも、今年行った行事の良かった点や改善点のほか、残っている年度内行事への取り組み、次年度活動の修正案なども、今年を振り返る会話の中で出てきたものと思います。それらの意見を収集し、次年度の活動に反映していくことができると考えています。

来年も会員皆様の参画意識の高揚、団結の強化を促し、支部活動がさらに活性化するように努力して参る所存です。

来年も引き続き、会員の皆様方によるご協力とご理解をよろしくお願い致します。

隊友会東播支部事務局



県会長が宴会を終えて帰るときです。「あ〜、美味しかった」